

令和6年度 特別養護老人ホーム高麓 事業計画

高麓ミッション

“最期まで自分らしく生きる”を増やす

法人理念「奉仕と博愛」実現の為、私たちの使命は「“最期まで自分らしく生きる”を増やす」こと、身体が不自由になっても認知症になっても、介護の力で自分らしく生きる人を増やし、望む暮らしの実現を目指していく。

しかし、高齢者介護を取り巻く環境は財源難をはじめ厳しい状況が続いている。とりわけ人材不足は大きな問題となっている。焼津市においては、高齢者介護施設整備を進める一方、介護人材の確保が更に困難な状況となっている。

このような現状を踏まえ、人材の確保・育成及び職員満足度の向上などの課題を中心に、以下の3つの視点から事業計画を策定する。

1. 感染症・災害への対応力強化

感染が続いている新型コロナウイルス感染症を施設に持ち込まない、発症させない防止対策を引き続き重点的に実施し、感染症が発生しても利用者に必要なサービスが安定的に且つ継続的に提供できるよう各部署においてより細かな事業継続計画を策定する。また、各地域で大規模な災害が発生しており、福祉施設の被害も見受けられるため災害発生時に備え、施設・職員の行動が迅速にできる対応力を強化した防災計画・事業継続計画の見直し、策定をする。

- ① 感染症対策委員会及び防災委員会を定期的を開催する。
- ② 各研修会及び訓練（シュミレーション）を実施する。
- ③ 業務継続計画に基づいた研修、訓練（シュミレーション）を実施する。
- ④ 地域住民が参加する防災訓練を実施する。

2. 人材の確保・育成

最期まで自分らしく生きる支援を行えるよう個別のニーズに対応できる人材の確保・育成を目指すための施策を実施する。

- ① リクルート促進を図るための引き続き委員会において、安定的な人材確保を図る。
- ② 教育研修委員会を中心に、利用者個々のニーズに対応できる人材育成を目指し、より実践的に学べる研修内容の充実を図る。
- ③ 新卒・中途職員のフォローアップ体制の強化を図る。
- ④ 面接機会を増やし、職員の主体性を引き出していく。

3. 顧客満足度向上

認知症になっても、身体が不自由になっても、最期まで自分らしく暮らせるよう、自立・自律を支援するケアを推進していくための施策を実施する。

- ① 尊厳の保持の決め手となる接遇向上と共に、全職員への高麗ミッションの浸透を図り、最期まで利用者が望む暮らしの実現が出来ることを目指していく
 - ・認知症への対応の向上を図る。
 - ・看取り介護への対応を充実する。
 - ・機能訓練、口腔、栄養の取り組みを強化する。
 - ・介護サービスの質の評価（成熟度確認）と科学的介護の取組みを推進する。
- ② 利用者の暮らしの安心と安全を確保するため**介護機器を積極的に導入**し、業務の効率化と共に職員の介護負担の軽減を図る。
 - ・見守り機器・移乗用リフト・特殊浴槽などを導入する。

4. 職員満足度向上

利用者一人ひとりの人権を尊重し、サービスの質の向上や環境改善に積極的に取組み、法人が目指す職員像に基づき、職務能力の開発及び全人的な成長を目的とした人材育成に取り組む。このことにより、職員の、働きやすく、働き甲斐があり、安心できる職場環境づくりに努め、個々の職員満足度を高め、顧客満足度向上に繋げていく。具体的には以下施策を実行する。

- ① 福祉人材の定着と人材育成
 - ・キャリアパスに基づく段階別研修の実施
 - ・教育研修委員会の各種研修の実施（介護技術・コンプライアンス等）
 - ・人事考課制度の充実を図るため、コンサルタント業者と共に制度の更なる充実を図る。
- ② 快適な職場環境の整備を図る。
- ③ 非正規職員を含めた処遇改善を行う。
- ④ 有給休暇・育児休業等の取得し易い職場環境を構築し、ワークライフバランスの実現を図る。
- ⑤ 次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく行動計画の策定及び推進
- ⑥ 全職員（非正規職員含む）が利用できる福利厚生事業の充実を図る。

5. 介護報酬の適正な確保のため各事業所の目標稼働率を設定

事業所	本年度目標稼働率		前年度目標稼働率	
特別養護老人ホーム高麓	96%	48/50人	96%	48/50人
高麓ショートステイ	100%	20/20人	100%	20/20人
ユニット型特別養護老人ホーム高麓	96%	48.2/50人	96%	48/50人
ユニット型高麓ショートステイ	100%	10/10人	100%	10/10人
高麓デイサービスセンター	87%	56.8/65人	87%	56.8/65人
高麓デイサービスセンターきすみれ	83%	10.0/12人	83%	10.0/12人
高麓訪問介護	105%	20時間	105%	20時間
高麓居宅介護支援事業所	89%	233/259件	87%	203/234件

6. 主要な事業計画

① 特別養護老人ホーム高麓

- ・利用者に快適な入浴時間を提供すると共に、職員にとっても負担のない介助が行えるよう予測型見守りシステム機器や、立位保持サポート介護機器の導入しを、生産性向上に努める。

② 高麓ショートステイ

- ・相談員、業務員、介護職員と情報を共有し、生活背景やニーズの多様化に対応する
- ・新しい生活様式に基づき、利用者がより楽しめる活動を提供する

③ ユニット型特別養護老人ホーム高麓

- ・最期まで自分らしく過ごせる環境を設定するために個別ケアの充実を図る
- ・日常生活の細かいデータ分析し、多職種と連携し利用者の介助の可能性を広げる

④ ユニット型高麓ショートステイ

- ・利用者の要望により、多様なレクリエーションを計画する
- ・リピーターを確保するために利用満足度の向上を図る

⑤ 高麓デイサービスセンター

- ・QOLの向上のための機能訓練は勿論のこと、重度化防止の観点にも注力しサービス提供を行っていく。
- ・介護技術・コミュニケーションなどの教育を実施し、安定したサービス提供をする

⑥ 高麓デイサービスセンターきすみれ

- ・その人らしい役割をつくり、ADLの向上を促すための活動をする
- ・認知症ケアの知識・技術をより高めるための研修会の参加や勉強会を実施する

⑦ 高麓訪問介護

- ・住み慣れた自宅と地域で長く暮らせるための支援を利用者と共に計画する
- ・職員一人ひとりの介護技術の向上を図るため各種研修に積極的に参加する

⑧ 高麓居宅介護支援事業所

- ・地域でその人らしい生活が出来るようサービス事業所と連携する

- ・東益津地域で健康で生き生きと暮らせるよう介護予防教室等を計画する

7. 高麓委員会名・活動内容

委員会名	活動内容・目標
運営委員会	施設全体でお客様から見た高麓サービスの価値を高める戦略の立案。魅力ある職場づくりの検討。 各部署の稼働率目標を共有・確認し、全部署が目標達成するように全部署で取り組む。 各委員会が目的に向かって活動が出来ているか共有・検討し、目的達成出来るように助言、アドバイスを行う。
サービス向上委員会	お客様からの苦情、相談等の対応、協議を行うと共に施設サービスの向上を図る。
防災対策委員会	BCPに基づき、各部署計画的に訓練を実施する。訓練報告を受け、よりよい計画になるよう協議、改善に努める。 安否確認訓練（5月、11月） 風水害訓練（6月訓練実施） 火災訓練（9月、11月）地震訓練（9月訓練実施） 委員会開催月（5月、8月、10月、12月）
感染対策委員会	BCPに基づき、各部署計画的に訓練を実施する。訓練報告を受けてより良い計画になるように協議、改善に努める。 感染症対策の検討、対応指示。 各部署感染症発生時対応訓練計画書提出指示（7月） 感染症発生時期対応訓練実施（10月まで） 委員会開催月（4月、7月、11月、2月）
安全衛生委員会	施設全体の安全衛生環境の管理・保全を行うと共に、職場の状況（休職者、長時間労働者の発生状況、その後の経緯などや労災事案など）の共有を行い、職員の健康障害、労働災害の防止を計り、健康の保持増進できるよう情報発信を行う。
教育研修委員会	①新卒・中途職員リクルート活動の内容検討を行い、リクルート活動における考え方を発信。 2025年新卒者、内定者3人確保、人材確保に向けた広報、認知度向上に向けた検討。 介護の仕事は人と関わることの楽しさが、感じ取れるインターンシップのブラッシュアップ。 新卒・中途職員のフォローアップ体制強化。 ②介護実習受入・指導力強化。出前講座の広報、コンテンツ向上。 ③段階別キャリアアップ研修の充実を図り、職員の意識向上に努める。 ④研究発表会（手上げ） ⑤相談員育成コースプログラム実施。

	<p>⑥サブスク研修スケジュール管理</p> <p>⑦役職者向け研修実施。</p>
地域交流委員会	<p>①職員の親睦イベント充実促進の企画実施。</p> <p>②女性活躍対象職員フォロー取組の充実。両立支援制度について。</p> <p>③高草保育園児との交流企画実施。</p>
リスクマネジメント委員会	<p>①各部署に対し介護事故減少に向けた実践的な取り組みの意識向上が出来る施策の実施。 2023 年度グレードⅡの件数 10 件を、2024 年度は 10 件以下にする。(※2022 年度グレードⅡ18 件)</p> <p>②誤嚥事故減少に向けた取り組み、意識向上の実施。</p> <p>③フォーカス会議の開催（事故発生より 24 時間以内に開催。施設長・委員長・部署責任者・報告者・その他）</p> <p>④身体的拘束適正化検討委員会の開催：身体拘束廃止の取り組み。新規採用時にも必ず開催する。</p> <p>⑤虐待防止検討委員会の開催。虐待防止の取り組み。新規採用依にも必ず開催する。</p> <p>⑥褥瘡マネジメント加算：褥瘡予防の観点から乾皮症対策の意識向上に向けた取り組みを行う。</p>
リクルート・促進広報実践委員会	<p>①2025 年度新卒者、内定者 3 人確保。</p> <p>②新卒内定者 3 人を確保のため広報、認知度の向上。</p> <p>③2025 卒インターンシップをブラッシュアップを行い人と接する仕事（介護）の魅力のアピールする。</p> <p>④ティックトックを使った新しい広報手法を行い、魅力をアピールし、採用に繋げる取組を</p>
食事委員会	<p>年 2 回お客様に嗜好調査を実施し、食に対する要望を確認する。敬老会、焼き芋大会、クリスマス、お正月の行事、ひな祭りに関して食の検討、発信を行う。 お寿司、スイーツバイキング等の企画実施のサポート年 2 回（6 月、10 月）に行う。</p> <p>お客様の状態にあったトロミ粉の比較検討を行い、必要に応じて変更を行う。</p>
優先入所委員会	<p>2 ヶ月に 1 回優先入所委員会を開催する。各特養において、スムーズな入退居が行えるよう随時 10 名の待機者調整を行う。</p> <p>退居後の入居期間が 7 日以内になるようにする。</p>
夏祭りプロジェクト	<p>令和 6 年からお祭りが出来るように地域役員の皆様、高麗職員の負担軽減も考えながら継続可能な形を検討していく。</p> <p>コロナ対策が軽減され、感染状況の経過をみるため、活動期間を 10 月からとする。</p>

*委員会の開催日は、定められた曜日に月 1 回以上とし随時は委員長が招集し開催する